

四條畷市総合教育会議（令和2年度第4回）

会議録

四 條 畷 市

1 令和3年3月25日 午前10時30分 四條畷市役所委員会室において、四條畷市総合教育会議を開催する。

2 出席者

市	長	東 修平
教 育	長	植田 篤司
教育長職務代理者		山本博資
教 育 委 員		竹内千佳夫
教 育 委 員		佃 千春
教 育 委 員		河田 文

3 事務局出席者

総 合 政 策 部 長	藤岡靖幸
兼魅力創造室長	
教 育 部 長	上井大介
教 育 部 次 長	賀藤久道
教 育 部 次 長	阪本武郎
兼青少年育成課長	
教 育 部 次 長	木村 実
兼学校教育課長	
兼教育センター長	
教 育 総 務 課 長	板谷ひと美
教育総務課施設整備担当課長	勝村隆彦
教 育 総 務 課 主 任	木邨勇貴
生涯学習推進課長	安田美有希
教育部上席主幹兼主任 (生涯学習推進担当)	村上 始
公 民 館 長	神本かおり
図 書 館 長	田中 学
秘 書 政 策 課 長	木下 順代
秘書政策課事務職員	安田直由

4 会議録作成者

秘書政策課事務職員	安田直由
-----------	------

5 案件

- (1) 令和3年度の教育部主要施策について
- (2) 教育振興ビジョンの改訂報告について
- (3) その他

<p>総合政策部長兼 魅力創造室長</p>	<p>それでは定刻になりましたので、令和2年度第4回四條畷市総合教育会議を開催させていただきます。本日は全員のご出席をいただいております。</p> <p>本日の案件といたしましては、次第に記載しておりますとおり、1番めに令和3年度の教育部主要施策について、2番めに教育振興ビジョンの改訂報告について、市長と教育委員会で報告や意見交換を行うため、お集まりいただきました。本日も円滑な会議の進行にご協力をお願い申し上げます。</p> <p>なお、会議録作成のため録音させていただきますので、お手元にごございますマイクをお使いいただき、ご発言いただきますようよろしくお願いいたします。それでははじめに市長からご挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>皆様おはようございます。</p> <p>先月に引き続き、大変お忙しい中恐縮ではございますが、ご出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>今回で本年度の総合教育会議は最後かとは思いますが、新型コロナウイルス感染症対策に始まり、それに付随するGIGAスクール構想への対応、あるいは、避難所等にもなる体育館への空調設置であったり、校舎内の空調設置であったりと、従来であれば、年度内ではかかりきりになってしまうような大型事業が数えきれないほどある中で、それらすべてを年度末までに確実に進捗をこられたということに対しまして、心から敬意を表したいと思っております。本当にお疲れさまでした。</p> <p>市としましては、これから感染収束に向けて、決め手と言われているワクチン接種が始まります。当初報道されていたよりもワクチン供給量の見通しが不明確ですので、少し遅れている状況になりますが、ワクチンが確保できしだい、迅速かつ円滑かつ確実に、市民の皆さんにお届けできるよう体制を整えていきたい。そうしたものが広まることで、子どもも大人もみんなが安心して毎日を暮らし、いつもの日常を取り戻せるよう我々も頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いを申し上げます。簡単ではございますが挨拶に代えさせていただきます。</p>
<p>総合政策部長兼 魅力創造室長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは市長、以降の会議の進行をよろしくお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>それではお手元の次第に従いまして進めて参りたいと思っております。</p>

市長	<p>1点めの案件1、令和3年度の教育部主要施策について、担当部局から説明をお願いいたします。</p>
教育部長	<p>1点め、令和3年度の教育部の主要施策につきまして、本日は大きく2点について、共有させていただきます。</p> <p>まずは、1点めの「各種計画の策定について」私の方から、説明させていただきます。</p> <p>令和2年4月22日開催の教育委員会定例会において、(仮称)教育振興基本計画の策定期間に関し、まずはGIGAスクール構想の早期実現に注力すること。次期計画には、1人1台端末を踏まえた学校教育や授業のあり方をしっかり反映する必要があるとの理由から、現教育振興ビジョンの計画期間を令和3年度末まで延長のうえ、本年度予定していた(仮称)教育振興基本計画の策定を3年度に見直すことについて可決いただき、そして、同日の総合教育会議で共有させていただきました。このことから、次年度におきましては、今年度策定されました教育大綱を参酌し、(仮称)教育振興基本計画を策定してまいります。</p> <p>あわせまして、現教育振興ビジョンと連動する諸計画のなか、改定期間の1年延長を報告した計画、「四條畷市児童・生徒学力向上3ヶ年計画」、「四條畷市スポーツ推進計画」、「四條畷市文化芸術振興計画」につきましても、3年度中の検証と並行して改訂等を行ってまいります。</p> <p>なお、各々の計画において、今年度は必要に応じ部分的に時点修正を行っております。以上報告させていただきます。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上の点につきまして、教育委員の皆さんから追加等、何かございますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
市長	<p>特にご意見が無いようであれば、私から3点申し上げてもよろしいでしょうか。</p> <p>1点めが体系の整理についてです。といいますのも、この現教育振興ビジョンにつきましては、非常に多岐に渡る分野の記載がなされております。それぞれの資料が大変わかりやすく詳細に記載をされているところです。</p> <p>一方で、まだ仮称ですが、教育振興基本計画という名前になると</p>

<p>市長</p>	<p>すれば、一定大きな枠組み等を示していくものになっていくと思います。その中で現教育振興ビジョンに示され、記載されている大小様々な計画、これらがどのように関連し合っているのか、どれが上位計画、下位計画なのかを体系的に示していくことが必要になってくるかと思います。</p> <p>といいますのも、例えば施設整備に関することは、多分に市長部局といたしましても関連性の高いものでありますし、就学前の教育というようなところも、市長部局と関連性が高かったりしますので、そういった部分の体系性を早めに整理いただけると、より市長部局と関わりの深いところは早めに連携等が取れたりするのかと思いますし、我々としても、ともにより良いものを作っていけるかと思います。</p> <p>2点目が網羅性について少しお話をさせていただきたいと思います。</p> <p>四條畷市としましては、以前に比べて財政状況が回復してきていますので、事後対応というよりは、どちらかというとな様々壊れているもの、補修しないといけないものを事前に対応していけるような組織をめざしていきたいと考えております。</p> <p>そうしますと、社会教育施設だけではなくて、学校教育施設、備品、そういったものを体系的に、耐用年数が過ぎる年度の前年度に改修していく計画を立てて対応していくことができれば、予期せぬ損壊を未然に防ぐことができます。現教育振興ビジョンの中には、そういったことが有る分野もあれば、無い分野があったりするのかなと思いますので、そういったところの網羅性というものを意識いただくと、市長部局といたしましても積極的に予防保全、未然に防いでいくという観点から予算を考慮しやすくなっていくと思いますのでご留意いただければと思います。</p> <p>3点め。資料ですが、1枚1枚を読むと非常にわかりやすい作りになっていますが量感がありますので、市民にとっては読むとなると、結構大変だなと感じるのではないかと思います。せっかくこの期に久しぶりに大きく改訂されますので、広く市民の方にも、「そんな体系になっているんだな」とか、子どもにも大人にも「この分野は、そういうふうにしていこうと思っているんだな」と理解していただきやすい枠組みになっているといいかなと考えています。時間をかけて作り上げるものですので、例えば概要的なものがあるなど、そのあたりはお任せしますが、地域の人も知っている教育振興計画になるといいなと思っておりますので、そのあたりもご留意いただけると嬉しく思います。</p>
-----------	--

<p>市長</p>	<p>以上3点、私から計画の策定についてご留意いただきたいと思っている点になります。</p> <p>何かご意見等ございますでしょうか。職務代理をお願いします。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>私も、いま市長が言われたことはよく理解できますし、その通りの部分が多いかなと感じています。</p> <p>実はこの教育振興ビジョンというのは、今の教育大綱のような上位計画がない段階で作っていました。実際には個別の課題があったと思います。</p> <p>一番大きな課題としては、おそらくもう10年近く前になるかと思えますけれども、英語教育ということが個別の課題であって、その英語教育を市の中でどのように実現しているかということで、ALTを市独自の予算で雇用するということから始まって、実施していく中でいろんな課題が出てきた部分を、網羅的に作り上げてきた部分があります。これはこれで本市の教育がどういう状況にあって、何がいるかということが、はっきり分かりますので、一定の役割はあったかなと思います。</p> <p>いま、教育大綱ができましたので、やはり教育振興基本計画という形に変わった場合においては、市長が言われたように体系的にしていく必要があると思いますので、教育大綱の基本方針に則った形で作成していく必要があるかなというふうに思っていますし、その計画の中では、細々したいろんな課題等についても、できる限り別途の具体の計画といいますか、大綱の次にたとえば中綱みたいな形の教育振興計画ができれば、より5年とか10年というスパンで教育をしていくことができるのかなというふうに思っていますので、単年度でできる部分と分けて考えるのも一つの方策かなというふうに思っています。基本的には市長が言われたように、やっぱり体系の整備というのが必要かなというふうに感じています。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。本当におっしゃられたとおりでと思います。とりわけ他の分野もそうなんですけど、教育というのは実践してから効果が出るまで非常に時間も伴うものかと思えますので、いま職務代理が中綱的なおっしゃっていただきましたけれど、おそらくイメージとしてはそういうものになります。実際にその下にアクションプラン的な、おそらく単年度ごとに何かやっていくというものになっていくかと私としてもイメージしているところです。</p> <p>他の委員から何かございますでしょうか。</p>

<p>佃委員</p>	<p>教育振興基本計画については、先進ではないですね、すでにたくさん市の市が作られていて、私も幾つか目にしたことありますけれども、結構何ていうかな、書かなければいけないことをたくさん盛り込まなければならず、ボリュームになるかと思うのですが、本市には、誇るべきといいますか、教育大綱がすごく、ある意味キャッチーで、「個性をみんなで活かすまち」から始まってすごくわかりやすく、先ほど市長が大事にされていた、大人から子どもまで読んでわかりやすいものっていう、そういうコンセプトもお伝えしてくださっていますので、いま職務代理がおっしゃった基本方針に則って、もっとう夢を描けるような、何よりも子どもたちが見て、「こんなに変わっていくのかな」っていう、夢が描けるようなものになりつつ、先般も文科省の答申で、令和の日本型学校教育の姿とか読みますと、それはそれですごくすばらしいなと思うものもあるんですよね。そういうことをいろいろ盛り込みながら、いま私たちでできる、事務局の方にはご尽力いただきますけれども、知恵を絞って、すてきだなというものを作って欲しい、作りたいなというふうに思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>大変楽しみにしております。その他、いかがでしょうか。竹内委員お願いします。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>はい、学校現場にとってはですね、この振興ビジョンは非常に具体性があるんですね、わかりやすい表現で、先生方、一人一人についても十分理解しやすい。そして、こんなことがあるからこんなことをやってみようとか、こうしようとかっていうような、そういう具体性にすごく富んでいるかなと思います。そういった意味でこれをいかに実践するかっていうのがね、学校現場では当たり前のことですが、問われているんじゃないかな。</p> <p>そして、保護者にとっても、そしてまた地域も協力しながらですね、いかにこれを絵に描いた餅にならないようにですね、実践していくかっていうことが非常に重要なことと当たり前のことですが、改めて感じました。以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>おっしゃるとおりかと思えます。やっぱり先生たちもご理解いただいて、また、範囲としては当然社会教育も入ってくるかと思えますので、地域の方含め多くの市民の皆さんが理解しやすいなと思ってもらえるものが重要になってくるかと思えます。</p> <p>その他ご意見等ございますでしょうか。</p>

教育長	<p>それでは次年度への決意を込めて、三つの観点で、まとめさせていただければと思います。</p> <p>一つめは、ご指摘のとおり階層化・構造化ということかと思えます。二つめが、時間軸・期間。こちらが第6次四條畷市総合計画ですが、2050年までの30年ターム、そして教育大綱が2030年までを見据えた10年タームとした時に、おそらくこの教育振興基本計画は、およそ5年から10年位の見通しをもって構成していくのが良いかと。これは是非広範な視点で検討していきたいと思えます。そして三つめは、市長ご指摘のとおり、情報公開し浸透させていくこと、つまりメッセージ性ですね。このあたりも含めて、しっかり議論をしていきたいととらえております。どうもありがとうございます。</p>
市長	<p>その他ご意見ございますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
市長	<p>続いて、報告案件があるということですのでよろしく申し上げます。</p>
教育部次長兼学校 教育課長兼教育センター長	<p>では、続きGIGAスクール構想に伴う児童生徒1人1台タブレットPCの活用状況につきまして報告させていただきます。スライドを準備いたしましたので画面をご覧ください。</p> <p>GIGAスクール構想に伴う児童生徒1人1台端末活用に係る進捗状況について、令和2年8月に市立小中学校におけるICT利活用計画を策定、12月までに小中学校の校内ネットワークの整備を終え、本年2月末には全小中学校へのタブレットPCの配備が完了した状況です。</p> <p>教育に係る最上位計画、教育振興ビジョンに、未来に向けた資質・能力の育成と題し、GIGAスクール構想を位置づけ、1人1台タブレットPCを活用した授業のあり方をここでは示しています。</p> <p>また、市立小中学校におけるICT利活用計画においては、めざす子どもの姿を明確に示し、その実現に向けた詳細な内容が記載されています。</p> <p>あわせて市のホームページにも、GIGAスクール構想に関する内容を掲載し、本市のGIGAスクールに係る取組みを紹介しています。</p> <p>利用状況は、タブレットPC貸出しに係る保護者からの申請書の</p>

教育部次長兼学校  
教育課長兼教育セ  
ンター長

集約と併せ、教員を対象とした基本的な活用に関する研修を行い、準備ができた学校から少しずつ授業支援ソフト等活用をしながら授業を開始しておる状況です。

では、実際の写真をご覧いただきたいと思います。まずは教室に設置されているG I G A端末保管庫です。ここに学級全員のP Cが保管されています。

つぎに、実際に活用する教員に対する研修会の様子です。画面の方は先生たちが、それぞれ変えた部分が画面に映っているところです。この研修会が終わりましてから、それぞれの先生方が授業支援ソフトを活用して、授業づくりを始めております。この具体については、後でお示しをさせていただきます。

この黒塗りにしているところにつきましては、先生方のお名前が入っているような状況でございます。また、このものの重さということで、こちらの方も先生達を作っている状況です。提出済みということで書かれているところですが、こちらにも実際に授業で生徒たちに配って、生徒たちがそれに対して提出をしている状況です。

また、授業支援ソフトについては、もともとテンプレートが豊富に入っております。例えば、プログラミング学習の要素を加えたこれが音楽の授業のテンプレートです。すぐにでも活用できる素材が充実しております。では、実際に授業の様子をご覧いただけたらと思います。

まず、中学校で行われた理科の授業になっております。各々のパソコンに教材がオンラインで配布され、その特徴をまず自分で考え、その考えをグループで即時共有し、新たな見方を獲得し、考えを深めていくといった内容になっております。また、キーボードパソコンとしても取り外してタブレットとしても、活用している状況でございます。

次に、小学校の様子をご紹介します。6年生が1年生の教室に入り込んで、一緒に端末の活用する、6年生がサポートしているというような状況です。

続きまして、こちらにも一年生の授業の様子です。この授業のめあては、授業支援ソフトのログインとログアウトの仕方を覚え、1人でできるようにしようということがめあてになっております。飛沫防止ガードも活用しながら、校内でのP Cの活用の定着を図っています。

最後に、「なわてっこに1人1台タブレットP Cを！」と題し、令和3年度当初に保護者あて周知案内文の方を配布する予定にしております。

<p>教育部次長兼学校 教育課長兼教育セ ンター長</p>	<p>では実際の授業の方に使われた具体をお示ししたいと思います。</p> <p>例えば、この授業です。創造力を広げて、この写真に対して、何と言っているか生徒たちがそれぞれ書き込んでいます。子どもたちが書き込んでいるような内容を、1人分を拡大するとこれが全体に映し出されたりするような形になっています。</p> <p>また、こちらは中学生の技術家庭の授業になっております。こちらの技術家庭の中では、例えばこの電気の分類ってところの教材で、電池で作動するものはどんなものがあるかなということで、それぞれ意見が自分で考えたものを公開しております。</p> <p>もう一つ、大切なのは道德の授業に焦点を絞ってみます。例えば何か題材を与えられて、どんなことを考えたか、生徒たちが考えた内容を一人一人入力してそれぞれ提出します。すると友達の意見を見ることができ、「いいね」があったりとか、このことに対してコメントが入れられたりとかします。即座に友達の意見とかを先生たちが指示をすると、全員が見られるようになるので、そうやって友達の意見を考えながら、また自分の意見を深めていくといった内容で、中学校は1月、小学校は2月に導入を完了させていただいたのですが、もうすでにここまで授業に使っているような状況でございます。</p> <p>次年度は、令和2年8月策定の利活用計画に則り、さらに授業支援ソフト等活用し、より一層の活用に向け、取り組んで参ります。また、学力向上対策プロジェクトチーム会議のなかでも、活用についての好事例を共有、収集し、教員に広く周知してまいります。</p> <p>私から以上でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。本当に隔世の感があるなという思いですが、委員の皆様から何かご意見等ございましたらお願いします。</p>
<p>山本教育長職務代 理者</p>	<p>ちょっと感想めいたことになるんですけども、1人1台のタブレットの導入ということについては、いま全国的な状況としてはなかなかまだ配置ができないというような市もあるように聞いている中で、本市は、市長の非常に好意的な部分が多かったと思うんですけども、他市に先駆けて活用できるような形になったのかなと思います。</p> <p>ただこれにつきましては、上井部長はじめ事務局がもう本当に、市長部局もそうだと思うんですけども、教育委員会は事務局が本当に大変だったというふうに、これをするだけではなくて、それ以外の職務の中に並行してこれをされたということで、それについてはもう、我々外から見えていまして非常に敬意を覚えるところです。</p>

山本教育長職務代理者	<p>それで、今ありましたように、学校の先生方もすごく心配をしました。何度も申し上げたことがあると思うんですけども、配備するだけではなくて、使わないと意味がないということで、今見させていただいたら、授業の工夫等本当に上手くされているなどということ強く感じています。今後は先ほど出ました教育振興基本計画の中にも、ぜひ今後の利活用の方法については取り入れていきたいというふうに思っています。</p> <p>それで今日新聞に大学入試の共通テストの科目設定の部分がありました。その中に、従来の六つから七つの教科に広げる。あと一つの教科が「情報」。いままさしく出ていましたプログラミング学習を含めて、そういうプログラミングを含めた「情報」が導入されました。今の中学校2年生が大学入試を受けるところかなというふうに思いますので、直接は繋がらないとはいえ、四條畷市の子どもたちの未来の姿を考えたときに、遅れるというよりも非常に先行していますので、効果的かなというふうに思います。</p> <p>だから、ほかの教科はちょっと不利であるけれども、小学校、中学校から、こういう形でパソコンを利用して授業をやっていくという中で、「情報」に関心を持つ子どもたちが、大学の道が従来であれば閉ざされたかもわからないけれども、「情報」があることによって、受けてみようかなというふうになっていくことも考えられますので、未来のまさしく教育大綱が考えているような、やってみようというそういうところを伸ばしていくような教育としては、その実践として、先んじて非常に効果的かなというふうに感じています。そういう意味で、早くに整理していただいたということの感謝を含めまして、感想です。</p>
市長	<p>本当にひとえに、教育委員会皆さんのご尽力の賜物かなと思います。その他、何かご意見ございますか。</p>
河田委員	<p>保護者としての目線から、少し思っていることがあるんですけども、当初、タブレットが導入されるってということで、私たち保護者ってというのは、こういった形の教育っていうのを受けてこなかったってところがあり、また教育のプロでもないわけなので非常に何て言うのかな、不安というものが保護者の中にありました。そういう声も実際に聞いてきましたが、いまスライドを見せていただいて、こういう授業は、子どもたちが本当に主体的に、また意欲的に授業、学習に取り組めるもので、本当に有効なものだなと感じました。導入からわずかな時間で、先生方も本当に大変な思いをされなが</p>

河田委員	<p>ら、教材としての活用、そしてまた、子どもたちの使い方の指導などをなされていて、ここまで授業として成り立っているっていうことに非常に驚きました。</p> <p>ただ、その一方で、やはりこういう機器を使うことが苦手な子ども中にはいると思います。特にそういう機器を使うことが苦手な子に関しては、苦手な教科での授業で苦手なタブレットを使うということは、大変さが二倍にもなると思いますので、またそういうところのケアというかサポートっていうのも必要だろうなというふうにも感じました。以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございます。本当におっしゃるとおりだと思います。そういった観点も、ぜひ教育振興基本計画に盛り込んでいただければと思います。</p> <p>いまの観点でいきますと、報告の中では学力向上対策プロジェクトチームでも様々な事例を共有して授業をすすめておられるということで、ノウハウを蓄積していくこと自体は素晴らしいことだと思います。</p> <p>一方で、あくまで端末はツールの一つなので、それは学力向上だけを意図したものではないと思います。他にもこのツールが生かせる分野はあると思いますし、いまおっしゃっていただいたような、逆に言うと、苦手な子だからこそ別の部分で輝くところもあると教育大綱には記載させていただいているかと思うので、そのあたり、教育振興計画の方でもぜひ盛り込んでいただきたいなと思います。</p> <p>私は何より小学校6年生が1年生に教えているシーンがありましたが、いわゆる Peer to Peer と言われるような、子ども同士で教えあうというような事がすごく素敵だと思っていまして、今回はたまたま6年生が1年生を教えていましたけれど、こういうものになってくると、逆がありえてくると思います。得意な子は、小学校低学年でも難なく操作できる子もいると思うので、何かそういう学年を越えた交わりが起こりうるのかと思って本当にワクワクしているところです。</p> <p>一方で、いま河田委員がおっしゃられた、保護者の方々がこういうことがよく理解されている方にとっては、少しずつ不安が拭われていくと思いますが、まだよくわからないという方にとっては、不安も残り続けるかと思っています。報告の中で、ホームページ等も作っていただいているという話もあり、積極的に広報いただいていると思うので、それが広まっていくことで、少しずつでも不安が拭われていけばいいなと思っています。</p>

市長	<p>年間にすると非常にたくさんのご意見をいただく「市長への意見箱」ですが、これに対してのご意見はあまり届いていない印象ですので、これから教育委員会の方で、積極的に広報などで周知をしていただければ、反応が変わってくるかと思います。</p> <p>その他、何かございますか。</p>
竹内委員	<p>私の方からも少し感想めいたことを申し上げたいと思います。</p> <p>まず、導入段階で、大事なことはやはりいかにその子どもたちが興味を持って、やってみようっていうような、興味を持って学習できるかっていうことが非常に大事なかなというふうに思うんです。いま市長もおっしゃられたように、6年生が1年生を教えているっていう場面があったように、やっぱり子どもたちが親しみながらやっていくということは、導入段階において非常に大事なかなというふうに思いました。</p> <p>もう一つは、やはり学校というのはいろんな諸課題を抱えているわけです。限られた時間の中でいかに実践というか、効果的な指導をしていくのかっていうことが大事だと思います。いろんなことで先生方も試行錯誤しながら、そしてまた創意工夫しながらですね、これからもされていくかなと思うのですけれども、子どもたちの実態に合わせながら、そして学習効果が少しでも上がるような、結構現場も大変かと思いますが、その辺を大事にしていっていただいて、せっかくのタブレットなので、効果的に活用できるように頑張ってもらいたいという変な言い方なんですけども、お話ししておきます。以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございます。先生方のお話が出ましたが、本当に大変な状態かと思います。</p> <p>ツールの使いこなし方を覚えるだけでも大変なのに、授業そのもののあり方も変えていけないといけないというのは非常に苦心されていると思います。教育振興基本計画の中で、そういった先生方のサポート体制なども記載されると思います。子どもたちのサポートであり、先生方のサポートをどうしていくのかを、ぜひ教育委員会で明確に方針を定めていただいて、ともに推進していくと掲げていただけると、我々も予算等に関しましても一定配慮しやすくなりますので、先ほど佃委員もおっしゃられましたが、ぜひ明快で夢のある方針を掲げていただきたいと思います。</p> <p>その他ご意見ございますでしょうか。教育長お願いします。</p>

教育長	<p>新しい学びについて、学校現場の教職員と教育委員会事務局、総合したチームとしての動きで進めていきます。</p> <p>まず、当面の課題の克服について考えてみたいと思います。</p> <p>最初にタブレットPCの家庭の持ち帰りに際して、セキュリティ、それから情報モラルという点です。これらは人権に関わることですから、ここは学校での活用も含め仕組み/仕掛けと啓蒙/教育でしっかりおさえていきます。</p> <p>それからこの先の発展として、ラーニングスタイルの大きな変革というのがあります。導入したアプリケーションソフトによって、これまでの授業形態をほとんど変えずに、ICTを活用した付加価値が得られますが、加えて、一律一斉でない授業が可能になります。</p> <p>更に、ご指摘のように、苦手だから個別最適な学習によって、勉強が好きになるというところへの展開ですね。子どもたちが新たな学びで新たなちからをつけて成長することを期待しています。</p> <p>今般、GIGAスクール構想、国で1台4万5千円の補助、ということになっていますけれど、このアプリケーションソフトを入れた1台あたりのコストは結構なものになっています。それをご決断いただいて導入したからこそ、これほどスムーズに早期に活用が図られていると思います。やはりソフトウェアの効用は大きいと思いました。ありがとうございました。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他ご意見ございますでしょうか。佃委員お願いします。</p>
佃委員	<p>やっぱり、以前も申し上げましたけれどもデジタルネイティブの市長と、そして教育長がいらっしゃる四條畷市だからこそ、こんなに早くソフトウェアも含めていい整備をしていただいたということに対して、やっぱり教育委員会としても検証というのがすごく必要になってくると思います。</p> <p>この後の振興ビジョンもそうですけれども、物差しを何にするのか。GIGAスクールでいったい四條畷の子どもたちがどんなに伸びたのかっていうあたりを、やっぱり定点観測で、子どもたちの様子をしっかり見るということが自分たちの逆に責務として必要なことかなと思いますので、またそういった点でも考えられたらいいなと思いました。以上です。</p>
市長	<p>そうですね。本日、教育委員の皆さんにたくさんのご発言をいただいているなか、すべてが振興基本計画に盛り込めるご発言等かと</p>

市長	<p>思われますので大変期待しております。 その他いかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
市長	<p>よろしいでしょうかね。</p> <p>では、案件1の令和3年度の教育部主要施策についてはこれで終わりたいと思います。続きまして案件2、教育振興ビジョンの改訂報告について、担当課からご説明をお願いしたいと思います。</p>
教育総務課長	<p>教育委員会にて先般改訂いたしました教育振興ビジョンの概要について、説明いたします。着座にて失礼いたします。</p> <p>この度の改訂は、令和2年4月の教育委員会定例会にて、当初、本年度策定予定であった(仮称)教育振興基本計画について、新型コロナウイルス感染症の流行による教育現場への対応に加え、ICTを基盤とした教育環境の大きな変化に鑑み、策定期間を令和3年度に見直すとともに、教育振興ビジョンの計画期間の延長をご可決いただきましたことに伴い、令和3年4月からの教育施策を展開するに向けて、これまでの取組みと今後の方向性を整理のうえ、修正を行ったものでございます。</p> <p>それでは、変更点につきまして、配布の計画に基づき説明させていただきます。</p> <p>まず、表紙に記載の計画期間を平成26年度から令和3年度までに変更しております。</p> <p>次に、1頁の教育振興ビジョンの位置づけについて、市長による新たな教育大綱の策定及び令和3年度からの施行を受け、大綱としての位置づけを解消し、教育基本法第17条第2項に規定する計画として改めました。</p> <p>以降、施策ごとの大きな変更点としては、まず10頁以降の児童・生徒学力向上3ヶ年計画について、次期計画へと進めるべく、本市のこれまでの取組み経過を踏まえ、育成すべき資質、能力や重点取組みの内容を一部修正しております。</p> <p>次に、14頁、英語教育の推進について、外部試験支援事業に中学2年生を対象としたGTEC Coreを追加しております。</p> <p>次に、15頁以降では、国が示すGIGAスクール構想の実現に向けて、本市がめざすべき姿やICT機器を活用した授業づくりに加え、令和2年度に実施したハード整備を示す内容として、分野別計画である市立小中学校におけるICT利活用計画、教育の情報化</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>整備計画に基づくG I G Aスクール構想を追加しております。</p> <p>次に、20頁、食育の推進では、学校給食センターの取組みに、給食の安定的実施と管理業務の効率化をめざす給食費公会計化の検討を追加しております。</p> <p>次に、22頁の支援教育の内容では、支援教育リーディングスタッフの追記に加え、通級指導教室の増加に伴う実施校数の修正を行っております。また、23頁の授業づくりの内容に、I C T機器の活用を追加しております。</p> <p>次に、26頁、人権教育の推進では、課題別教育の6番め、諸課題に係る教育の具体的取組みに関しまして、新型コロナウイルス感染症にかかる差別問題、S D G sの項目を追加しております。</p> <p>次に、31頁、学校現場の業務の適正化並びに学校の指導、運営体制の効果的な取組みでは、⑥としましてコミュニティスクール導入による地域とともにある学校づくりの推進を追加しております。</p> <p>次に、34頁、生涯スポーツの振興では、市民体育祭の開催内容を修正しております。</p> <p>次に、38頁、識字施策の推進では、識字基本計画を第2次から3次へと更新しております。</p> <p>次に、43頁、第3次子ども読書活動推進計画では、ビブリオバトル中学生大会をビブリオバトル市内子ども大会へと改めております。</p> <p>次に、45頁、放課後児童健全育成事業では、土曜日フォローアップ教室の事業終了により記載の削除を行っております。なお、本事業は放課後子ども教室「学び舎」事業に継承し、12頁にフォローアップの取組みとして掲載しております。</p> <p>次に、47頁、子ども、若者ひきこもり対策では、昨年度の子ども・若者育成支援行動計画の全面改訂に伴い、施策の修正を行っております。</p> <p>次に、48頁、利用者ニーズに応えるサービスでは、令和元年度をもって教育委員会での総合公園の管理を終了したことから、その他の社会教育施設から総合公園を除いております。</p> <p>次に、49頁では、令和元年度策定の学校空調設備整備計画を追加し、今後の工事スケジュール等をお示ししております。</p> <p>次に、50頁も同様に、令和元年度策定の学校施設修繕計画を追加し、学校施設、設備の今後の修繕方針をお示ししております。</p> <p>次に、56頁に示す学校再編整備に係る今後の整備スケジュールでは、令和2年1月の四條畷市個別施設計画【公共施設】の策定を受け、今後は当該計画との整合を図り進めていく旨、注釈を加えてお</p>
---------------	--

教育総務課長	<p>ります。</p> <p>以上の変更点に加え、細かな事業の変更や元号等の表記の修正を行い、令和3年2月の教育委員会定例会での議論を経て、お手元の内容としてまとめましたので、この場でご報告させていただきます。以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございました。新たに加わったことに伴う追記がメインになってくるのかと思います。冒頭に課長からご説明いただきましたとおり、大綱との位置付けから、教育基本法第17条の第2項に規定する計画という形に変わるというところが、一定枠組みとしては大きなものかと思います。</p> <p>変更された点につきましては、従来から議論してきた点ですので、私から特段意見等はないですが、教育委員さんの方から付言しておくことなどございますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
市長	<p>よろしいでしょうか。では、合意を諮ったということで、この案件につきましては終わらせていただきます。</p> <p>続きまして案件3、その他の項目ですが、事務局から報告等ございますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
市長	<p>教育委員の皆さんから総括的に何かご意見等ございますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
市長	<p>よろしいでしょうか。大丈夫でしょうか。</p> <p>引き続き令和3年度も、このGIGAスクールはまず導入が終わった段階で、これから本格的に実践していくことになると思います。さらに、先ほどビジョンの説明の中にもありましたが、新たに、例えばコミュニティスクールのことであったり、給食の公会計の話であったり、さまざまな新たな大きな挑戦が教育委員会のほうで行われると思います。</p> <p>加えて、国史跡指定もいよいよ大詰めを迎えてきており、様々な分野において大きな動きがある1年になろうかと考えております。</p>

市長	<p>それと同時に、市長部局の方では、来年度は機構の組織改編を行う予定としている中で、教育委員会の方でも、教育実態の変化が激しい中で、組織体制をどうしていくのかという議論もしていただき、教育振興基本計画の策定に並行して、可能であればより良い組織体制等もご検討いただきたい。大変盛りだくさんな1年になるのではないかと思います。今後もより密に連携をさせていただきながら、市民にとって一番よい教育のあり方というものを共に探していただけましたらと思いますので、よろしくお願いを申し上げまして、令和2年度の第4回総合教育会議をこれで閉会させていただきます。</p> <p>本日もありがとうございました。</p>
----	--